

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	アピックヤマダ株式会社					
代表者名	氏名	宮田 靖久	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県千曲市上徳間90					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	24 金属製品製造業				
主たる事業の概要	半導体製造装置、金型、及びプレス製品の製造					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	2,569	2,491	2,658	2,433	2,469
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO <sub>2</sub>	4,968	4,819	5,162	4,702	4,767
その他ガス排出量合計	t-CO <sub>2</sub>	0		0	0	0
自動車の台数	台	13		13	10	10
自動車からの排気ガス合計	t-CO <sub>2</sub>	24				

### 2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020 年度～	2022 年度
------	----------	---------

報告対象年度	2022	年度
--------	------	----

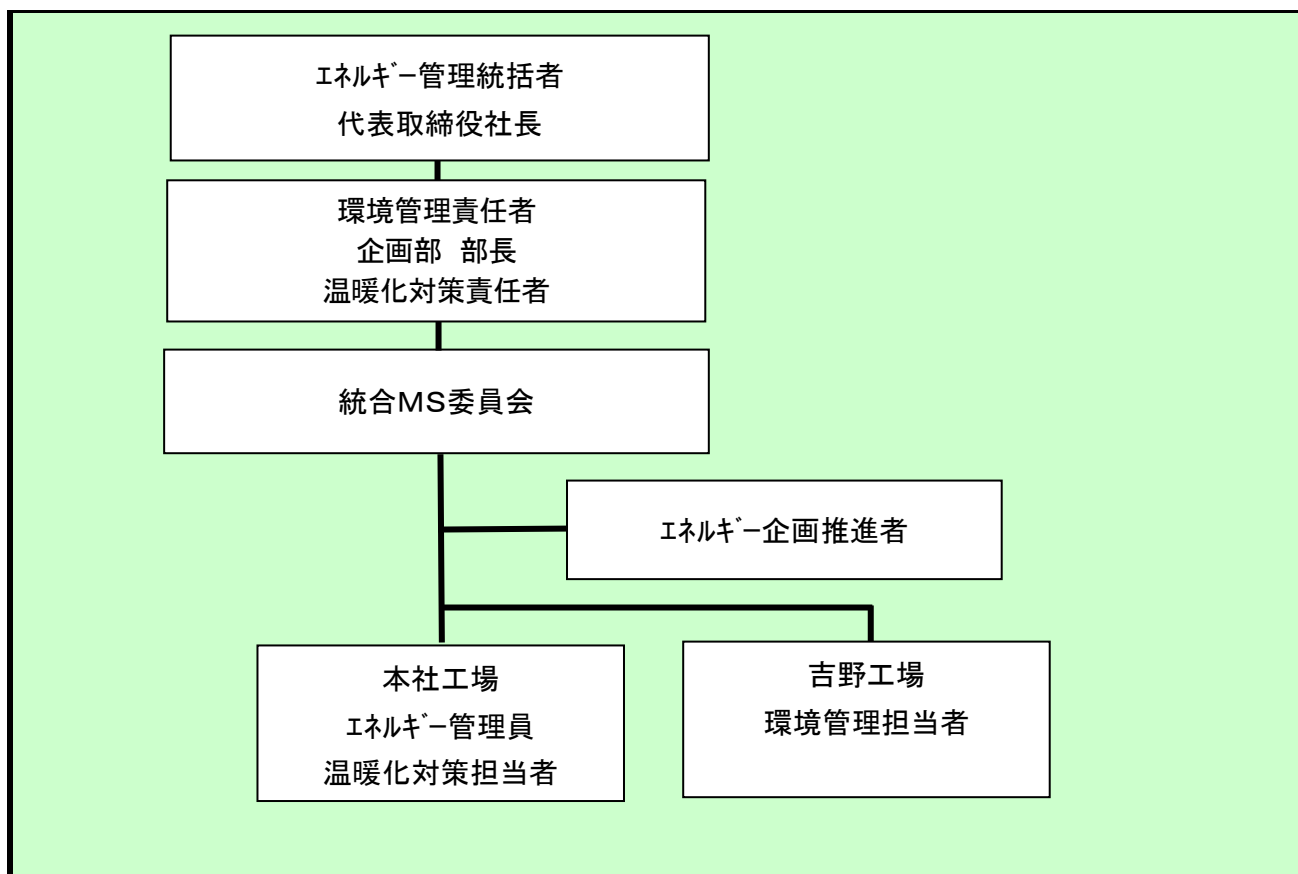
### 3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	アピックヤマダ株式会社 本社工場 平日9:00～16:00 企画部026-276-7878
<input type="checkbox"/>	その他	

#### 4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

- (1) 常に、お客様と向き合って考え行動し、お客様のご要望を半歩先でとらえ、次世代を目指した安全衛生配慮・環境調和型の製品・サービスを速やかに提供する。
- (2) グリーン購入による「環境配慮品の調達」と業務の生産性向上による「省資源・省エネルギー化」及び投入・排出物管理による「廃棄物の削減・適切な処置」を実現し、環境汚染を防止する。

#### 5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



#### 5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

統合MS委員会 月1回

様式1号  
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	4,968	t-CO <sub>2</sub>	生産高	668.60	単位	千万円
2019年度	調整後排出量	4,968	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	7.43	t-CO <sub>2</sub> /	千万円
目標年度	目標排出量	4,819	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	7.21	t-CO <sub>2</sub> /	千万円
2022年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	省エネ法での原単位削減目標が年間1%であるため、同じ数値とした。よって3年で3%削減を目標とする。						
第一年度	排出量	5,162	t-CO <sub>2</sub>	生産高	618.80	単位	千万円
	削減率	-3.91	%	原単位	8.34	t-CO <sub>2</sub> /	千万円
2020年度	調整後排出量	5,162	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	-12.25	%	
	削減率	-3.91	%				
排出量等の増減理由	コロナウイルスの影響で、世界的な設備投資の減少の影響を受け、受注が大幅に減少した。当社の設備投資も凍結され、LED照明の切り替えが出来なかった。						
第二年度	排出量	4,702	t-CO <sub>2</sub>	生産高	779.00	単位	千万円
	削減率	5.35	%	原単位	6.04	t-CO <sub>2</sub> /	千万円
2021年度	調整後排出量	4,702	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	18.70	%	
	削減率	5.35	%				
排出量等の増減理由	吉野工場の空調用冷水発生器の燃料である都市ガスの使用量が削減された。夏季の冷房は例年24時間運転だが、2021年は夜間の運転を停止したため。						
第三年度	排出量	4,767	t-CO <sub>2</sub>	生産高	978.00	単位	千万円
	削減率	4.04	t-CO <sub>2</sub>	原単位	4.87	t-CO <sub>2</sub> /	千万円
2022年度	調整後排出量	4,767	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	34.45	%	
	削減率	4.04	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	生産高の大幅増により、原単位が改善された。吉野工場のエアークンプレッサーで、メインに稼働していた機器を停止させ、インバーター仕様の機器をメインにしたことにより電力量の削減。						

様式1号  
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
2019年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2020年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2021年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	24	t-CO <sub>2</sub>			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定年度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	380752	LEDの導入	2020～2022	200	2021	5
2	エネ起	330299	空気調和機の更新	2021	20	2022	10
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式1号  
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	3,027	1	3,039	1	3,010	1	3,078
1,500k1未満	1	1,941	1	2,123	1	1,692	1	1,689
合計	2	4,968	2	5,162	2	4,702	2	4,767

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>				
CH <sub>4</sub>				
N <sub>2</sub> O				
HFC				
PFC				
SF <sub>6</sub>				
NF <sub>3</sub>				
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)				
合計	0	0	0	0
自動車総数	13	13	10	10
次世代車導入割合				

様式1号  
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	
自転車の利用促進	
来客者の交通対策	
物流の合理化	物流委託先は、全て排ガス削減対応車両の使用を要請

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		2004
	名称	ISO14001	
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄

<p>①社員に対し、空調設定温度、照明設備、OA機器の使用について、省エネを意識して使用するよう、社内ホームページで周知している。</p> <p>②環境に配慮した製品の購入。</p>
---